

【姫路の道の駅】 とーなっとお？

みんなで
もりあげて
いこう！



姫路市では、国道372号沿線の播但連絡道路東側に、
令和8年度末の開駅を目指し道の駅の整備を計画しています。

令和4年度は、令和3年度に策定した計画をもとに、
道の駅の整備に必要なボーリング調査、現況測量、
交通量調査などを実施しました。



道の駅事業対象地の
地盤状況を把握するため、

ボーリング調査を実施しました！

地権者の皆様の御協力の下、事業対象地内の6ヶ所にやぐら(右写真)を組み、地面に穴を掘って地盤の調査を行いました。



事業対象地の土地や
構造物の状況を把握するため、

現況測量を実施しました！

事業対象地の状況(土地の形状や構造物の位置等)を測量し、図面化しました。

※今後、境界の立会をお願いし、境界を確定します。

道の駅の駐車場規模などを
検討するため、

国道372号の交通量を調査しました！

令和4年11月9日(水)と20日(日)の7時～19時まで
実施しました。

周辺道路への影響を
把握するため、



交通シミュレーションを実施しました！

交通シミュレーションとは、現状の交通の状況を
コンピュータ上で再現したうえで、将来の道の駅
開駅後の交通への影響を検討するものです。



【姫路の道の駅】について

コンセプト

播磨の^{みりよく}実力にあふれ、世代・地域を越えた交流を生み出す道の駅

基本方針

播磨の実力(みりよく)ある
産品があふれ、触れる
ことのできる魅力的な場



こどもが楽しめ、
三世代が楽しめる
世代を越えた交流の場

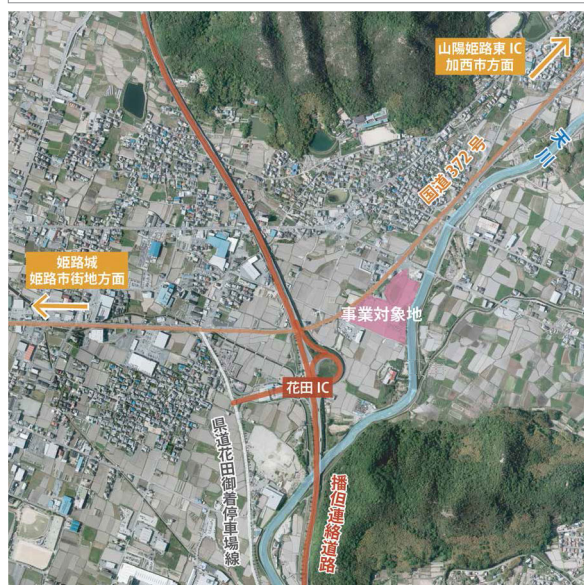


観光客や市民が集う
地域を越えた交流の場



【事業対象地】

国道372号沿線(播但連絡道路東側)の花田IC北東の民有地



【施設配置イメージ図】

※「(仮称)道の駅姫路」基本計画より

ゾーニングや施設配置の考え方を踏まえたイメージです。



【導入機能と整備のポイント】

導入機能・施設		整備施設
道の駅の基本3機能	休憩機能	・ 駐車場 ・ トイレ ・ 子育て応援施設 (授乳コーナー、おむつ交換スペース)
	情報発信機能	・ 道路情報、地域観光情報等の提供
	地域連携機能	・ 物販(地元特産品販売所) ・ 飲食 ・ 行政窓口出張所、地域包括支援センター
利便性・魅力向上機能	広域防災拠点機能	・ 防災倉庫 ・ 多目的室
	交通結節機能	・ バス停留所
交流機能	多目的広場	・ 芝生広場 ・ 遊具のある遊び場 ・ 屋根付きフリースペース
	こどもの遊び場	・ 屋内こども遊び場
その他		・ 電気自動車充電スタンド等

